

新型コロナウイルス感染症対策飲食業事業者等支援給付金

緊急事態措置などにより、売上に影響を受けた飲食業やその関連事業者に対して、事業を継続するための支援として給付金を支給します。

対象事業者

- ・中小企業または個人事業主で飲食業を営む事業者。ただし、県が実施した営業時間短縮要請の対象施設でないこと。
- ・タクシー業を営む事業者。ただし、介護タクシー業を除く。
- ・飲食店に食材などを販売している事業者で売上の30%以上が飲食店に対する売上である事業者。

支給要件

- (1) 令和3年4月、5月、8月、9月のうちいずれかの売上高が令和2年12月から令和3年2月までのいずれか1ヵ月の売上高よりも20%以上減少していること。
- (2) 給付金受領後も引き続き事業活動を継続する意欲があること。
- (3) 営む事業が風俗営業などに該当しないこと。
- (4) 役員および代表者が暴力団や暴力団員と密接な関係を有する者でないこと。
- (5) 政治団体および宗教上の組織や団体でないこと。
- (6) 町税を完納していること。
- (7) 対象となる事業者のうち飲食業に該当する事業者については、宮城県新型コロナ対策実施中のポスターを取得および掲示していること。ただし、県が実施するコロナ対策認証制度の認証店においては認証店シールでも可。

支給金額 1事業者あたり20万円

申請期限 12月24日(金)

※詳しくは、町公式HPを確認ください。

☎ 商工観光課 (☎34-0513)

新型コロナウイルス感染症 関連情報

新型コロナウイルス感染症の影響に伴う各種支援制度をお知らせします。



新型コロナワクチン接種について



■ 町の接種状況 (令和3年11月19日現在)

人口	33,445人
1回目接種済(接種率)	27,720人(82.88%)
2回目接種済(接種率)	27,331人(81.72%)

追加接種(3回目)が始まります

対象 18歳以上の方で2回目の接種から原則8ヵ月以上経過した方

接種券 2回目の接種から8ヵ月を経過した方を対象に順次発送します。

※2回目の接種から8ヵ月を経過しても接種券が届かない場合は連絡ください。

※接種場所や日時、予約方法などについては、接種券に同封される案内または町公式HPを確認ください。

■ ワクチン接種に関する問い合わせ

巨理町新型コロナワクチン接種コールセンター

☎0570-05-0524(有料)

受付時間:9:00~17:00(土・日、祝日を除く)

☎ 健康推進課 (☎34-0524)



事業者向け支援・給付など



選ぶ! 選ばれる!! みやぎ飲食店コロナ対策認証制度認証店応援金

新型コロナウイルス感染症対策を徹底した飲食店で県から認証を受けた店に対して応援金を支給します。

対象事業者 新型コロナウイルス感染症対策を徹底した飲食店で県から認証を受けた店。

支給金額 1事業者あたり10万円

申請期限 12月28日(火)

☎ 商工観光課 (☎34-0513)

新型コロナウイルス感染症対応融資制度利用事業者支援給付金

新型コロナウイルス感染症の影響による売上減少などに対応した融資制度を利用している事業者に対して事業継続のための給付金を支給します。

対象事業者

・町内に事業所を有し、今後も事業および経営の継続を予定している事業者。

・令和2年4月1日から令和3年11月30日までに次のいずれかの融資制度による融資を受けた町内事業者。

宮城県中小企業融資制度

セーフティネット保証4・5号、危機関連保証

日本政策金融公庫融資制度

新型コロナウイルス感染症特別貸付、新型コロナウイルス対策マル経融資、経営環境変化対応資金、生活衛生新型コロナウイルス感染症特別貸付、生活衛生改善貸付、衛生環境激変特別貸付

商工組合中央金庫融資制度

新型コロナウイルス感染症特別貸付(中小企業向け)

支給金額 1事業者あたり15万円※複数の融資または貸付を受けていても申請、給付は1回のみ

申請期限 12月24日(金)

☎ 商工観光課 (☎34-0513)

血圧について知ろう! Vol.4

町では、血圧がとても高い状態の方が増えています。この状態が続くと、全身の血管が傷み、心筋梗塞や狭心症、脳卒中などを発症する方が今後増加する恐れがあります。その現状を打開するため、「血圧」について毎号ワンポイント解説をしていきます。

冬季期間での血圧の変化

血管の仕事の一つに、体温調整があります。気温が高い日は血管を広げ(拡張)汗を出し体温が上がりすぎないように調節します。反対に、気温が下がって寒くなると、体温を逃がさないようにするため血管を収縮させます。そのため、日ごろの血圧が正常の方も高い方も、冬になると10mmHg程度血圧が上がります。血圧が高い状態が長く続いていると、血管が硬くなり(動脈硬化)、少しの温度変化でも急に血圧が上がることがありますので、日ごろからの血圧管理が大切です。

ヒートショックを防ぐには

「ヒートショック」とは、暖房の効いた暖かい部屋から、廊下やトイレ、脱衣所などの暖房が効いていない寒い部屋に移動したり、寒い脱衣所で着替えたあと温かい湯船につかったりするなど、急激な温度差により血圧が大きく変動することで起こる健康障害です。主に心筋梗塞や脳卒中を引き起こすと言われています。

ヒートショックを防ぐためには、浴室や脱衣所などの室温を温かくして居間や寝室との温度差をできるだけ小さくすることが大切です。

これで改善! 血圧の値!

これからの季節は、段々と気温が低くなることに加え、クリスマスや正月など美味しい食べ物を食べる機会が多くなります。「脂」や「糖」に加え、「食塩」を多く含む食べ物の摂取は、血圧に影響がある「体重増加」と「食塩の摂りすぎ」につながります。毎日の体重測定、血圧測定も忘れずに行うことが大切です。

☎ 健康推進課 (☎34-0524)